



取扱説明書

モデル

MS 8500
シリーズ

このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございます。

この家庭用ミシンは、直線縫いやジグザグ縫いはもちろん、ホームソーイングに必要な縫いが簡単にできます。

ミシン使い方

1 ページ ~ 7 ページ

縫うための準備

8 ページ ~ 17 ページ

縫ってみる

18 ページ ~ 24 ページ

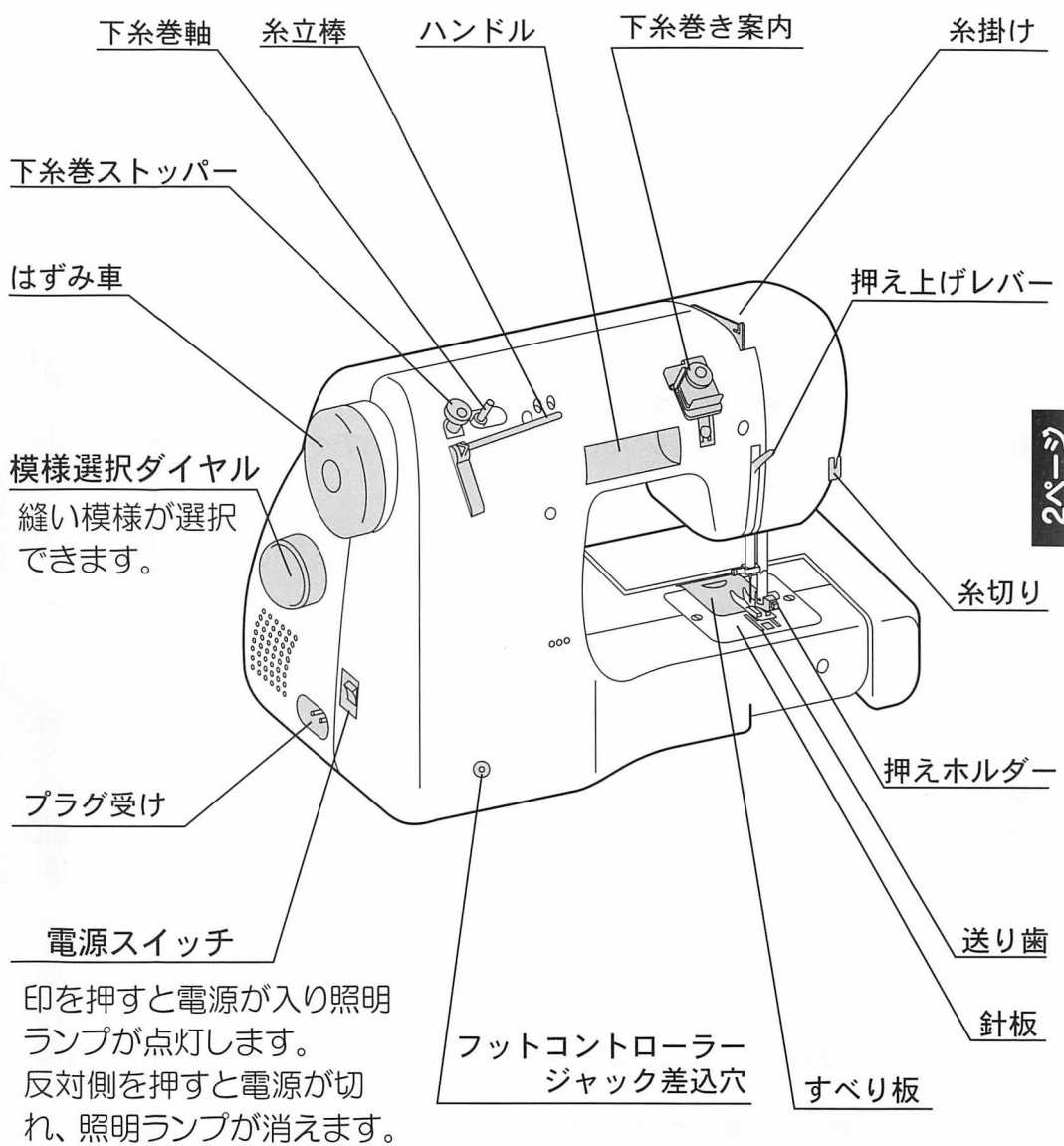
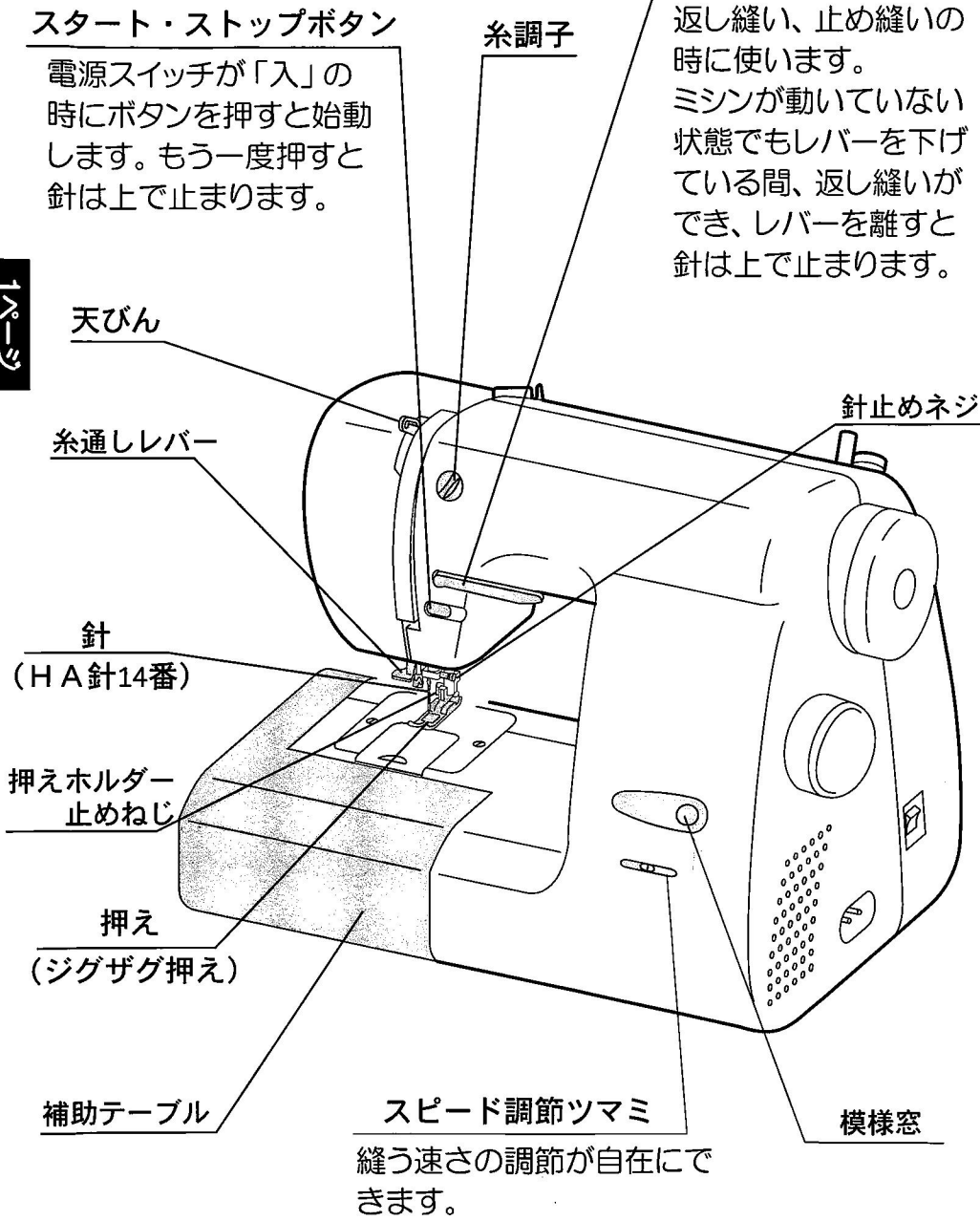
困ったときとお手入れ

24 ページ ~ 26 ページ

このミシンの特長をご理解していただき、正しくお使いいただくために、まず、「取扱説明書」をよくお読みください。

この「取扱説明書」は、保証書と共に大切に保管してください。

各部の名前とはたらき



- ◆箱と発泡スチロールは保存してください。
(長期間使用しないときの保管や修理など送付するときに必要です)
- ◆このミシンは常に最新の裁縫性能を提供するために、必要に応じてミシンの外観、デザインおよび、付属品を変更することがあります。

1ページ

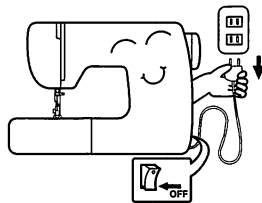
2ページ

安全にご使用いただくために

このミシンを安全にご使用していただくために、以下のことから必ず守ってください。
このミシンは日本国内向け、家庭用です。FOR USE IN JAPAN ONLY.

⚠️ 警告：死亡、感電、火災の恐れがあります。

- 一般家庭用電源 100V でご使用ください。
- 以下のような時は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - ・ミシン使用中に停電したとき。
 - ・ミシンを使用したあと。
 - ・ミシンのそばを離れるとき。
- 同梱の電源コードはこのミシン以外には使用しないでください。



⚠️ 注意：感電、火災、けがなどの原因になります。

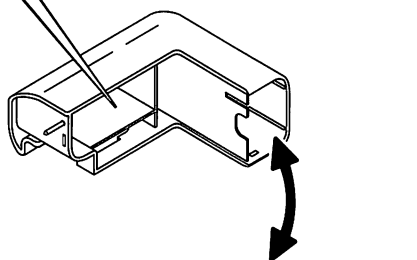
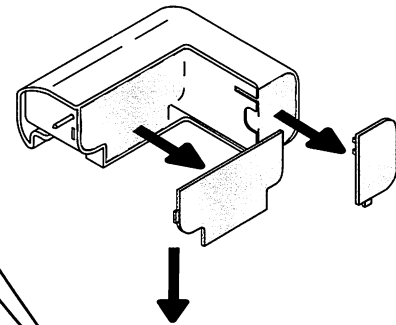
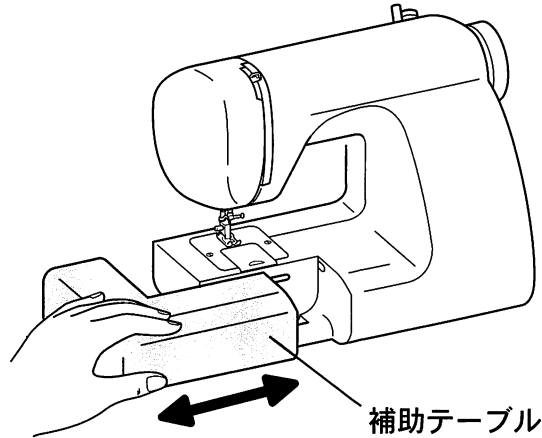
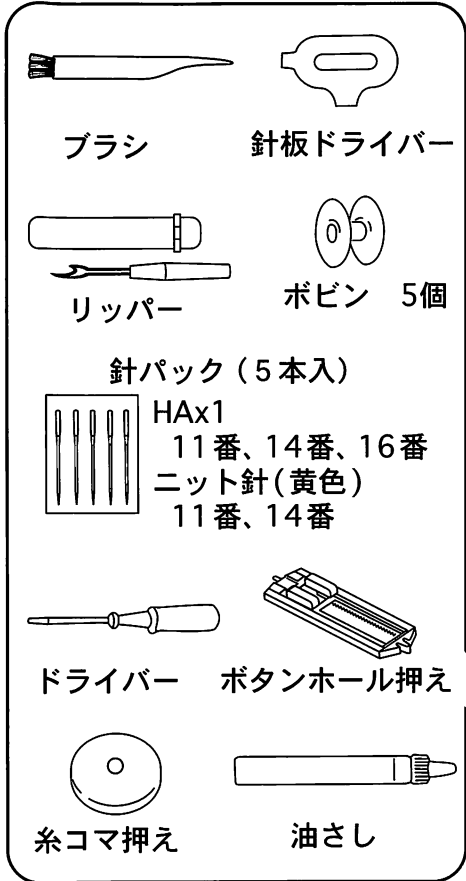
- ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針、はずみ車、天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。
- ミシンの操作中はすべり板などのカバー類は必ず閉めてください。
- 曲った針、先の傷んだ針はご使用にならないでください。また、ご使用後の針、不良針の処置には十分注意してください。
- 縫製中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。
- お子さまがご使用になる時や、お子さまの近くで使用される時は、特に安全に注意してください。（付属品はお子さまが口に入れたりしないよう、必ず収納してください）
- お客さまご自身での分解、改造はしないでください。
- 以下のことをするときは、電源スイッチを切ってください。
 - ・針、押え、アタッチメント、ランプを交換する時。（ご使用後のランプは熱くなっております。交換はランプが冷えてから行ってください）
 - ・「取扱説明書」に記載のあるミシンの手入れをする時。
 - ・原則として上糸、下糸をセットする時。
- ミシンに以下の異常があるときは、速やかに使用を停止し、ご購入店、または当社指定のサービス店にて点検、修理、調整をお受けください。
 - ・正常に作動しないとき。
 - ・落下等により破損、劣化したとき。
 - ・水に濡れたとき。
 - ・異常な臭い、音がするとき。
 - ・電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき。
- ミシンを高い場所に置いたり不安定な場所での操作は、落下や転倒する危険があります。

もくじ

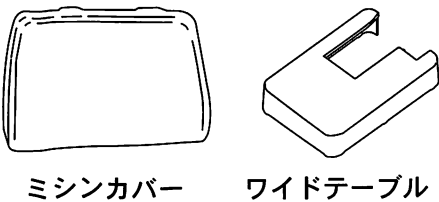
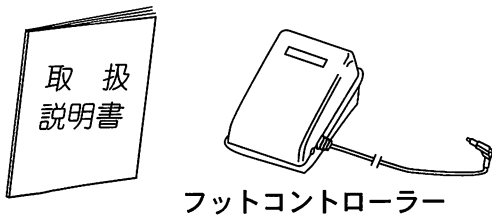
各部の名前とはたらき	1~2	返し縫い	20
安全にご使用いただくために	3	厚地の縫い始め	20
もくじ	4	縫い方向かえ方	21
付属品	5	段縫い	21
針の取り替え方	6	ボタンホール	22~23
針と糸と布の関係	7	フリーアーム	23
押えの取りはずし、取り付け	7	困った時には	24
電源コードのつなぎ方	8	お手入れ	25~26
下糸の巻き方	9~12	ランプ交換	27
● ボビンの取り出し方	9	取り扱いの注意	27
● 下糸の巻き方	10~11	主要諸元	28
● 下糸のかけ方	12	サービス工場のご案内	28
上糸のかけ方	13~16	フットコントローラーの 使用方法	29
● 糸通し器の使い方	15	カバー・テーブルの 使用方法	29
● 下糸の引き上げ方	16	修理サービス要領	30
模様の種類	17	保証書	
ためし縫い	18		
糸調子の確認と合わせ方	19		

付属品

◆針板ドライバーは針の交換、針板の取はずし、押えホルダーの取はずしに使います。

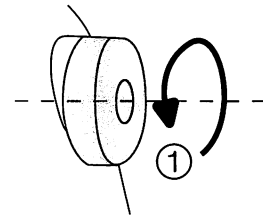


・電源コードは束ねて補助テーブルの中に収納できます。

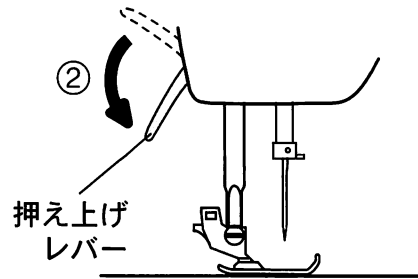


針の取り替え方

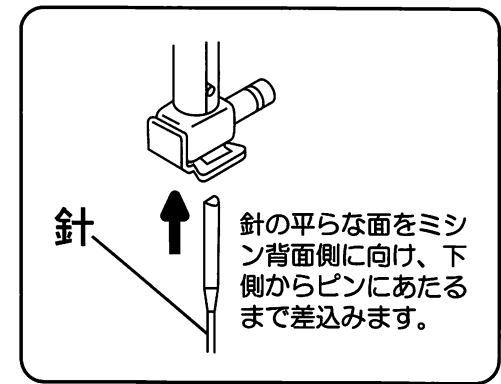
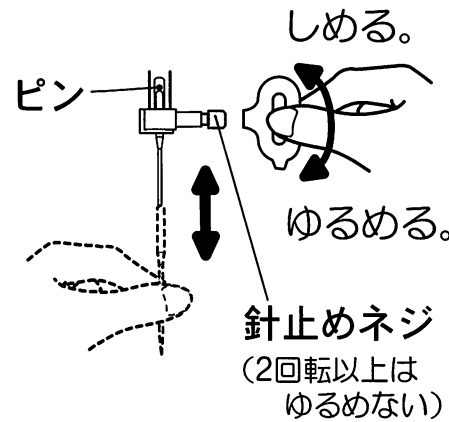
⚠危険：交換の際は必ず電源を切りコンセントを抜いてください。
◆付属品の針板ドライバーをお使いください。



①はずみ車を手前にまわして針を上げる。

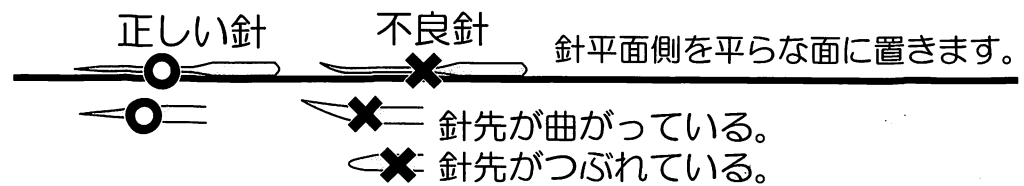


②押え上げレバーを下げる。



正しい針の選び方

⚠危険：不良針を使うと、針が折れてけがをする危険があります。



針と糸と布の関係

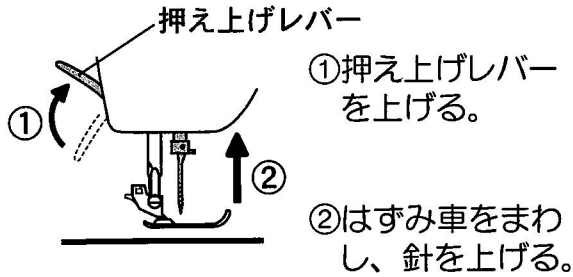
■きれいに縫うためには、下表を参考にして布に適した針と糸を使用してください。

布の種類		糸の番号	針の番号
薄地	薄地ジョーゼット、ポイル、タフタ、オーガージー、絹糸など	綿糸 80~100 絹糸 60~80 化繊糸 80~100	9~11番
普通地	さらさ木綿、薄手コーデュロイ、ピケ、ギンガムリンネル、サテン、別珍、一般服地など	綿糸 50~80 絹糸 60 化繊糸 50~80	11~14番
厚地	ギャバジン、ツイード、キルティング、デニム、コーデュロイ、タオルなど	綿糸 40~50 絹糸 50 化繊糸 50~60	16番
伸縮性の布	ダブルニット、トリコット、スパンデックス、ジャージなど	絹糸 60 化繊糸 50~80 ニット用糸	11~14番 ニット用針

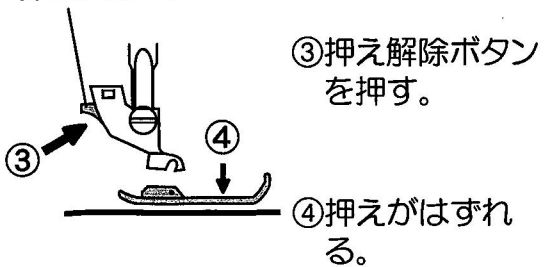
- ・上糸と下糸は同じ種類、同じ太さのものをお使いください。
- ・針は家庭用ミシン針(HAx1)、糸は家庭用ミシン糸とご指定の上お買い求めください。
- ・工場出荷時、ミシンには14番の針が付いています。(その他付属の針は5ページ参照)

押えの取りはずし、取り付け

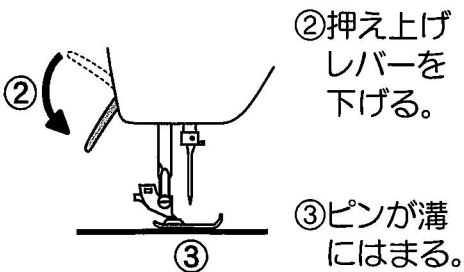
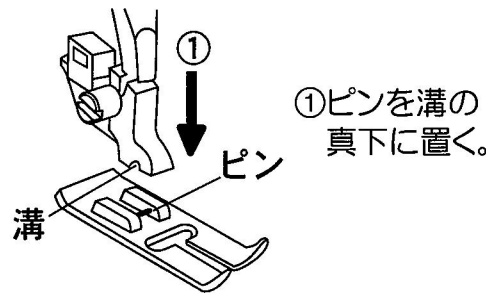
■取りはずし



押え解除ボタン



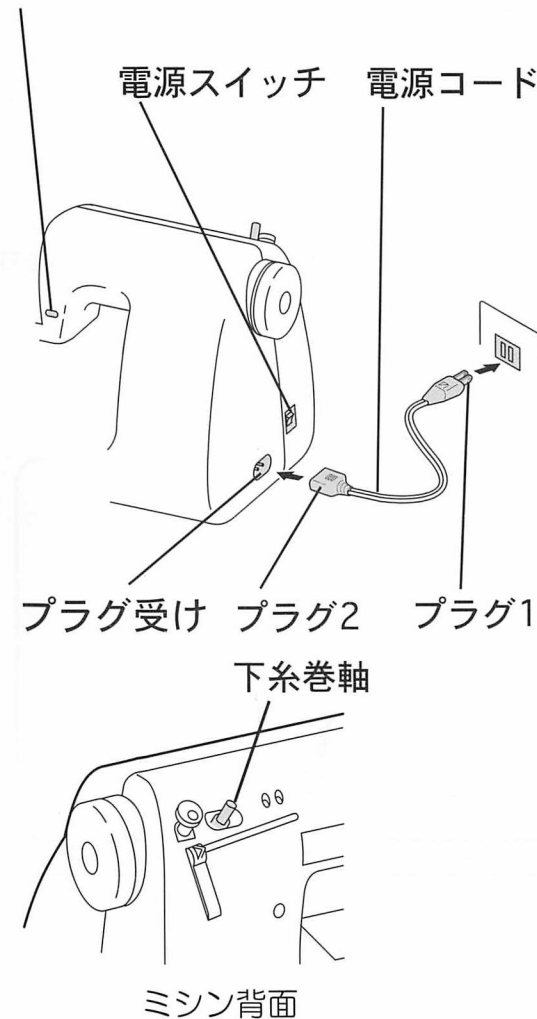
■取り付け



電源コードのつなぎ方

- ⚠ 注意：・ミシンを安定した場所に置いてください。
・電源スイッチを「切」にしてください。

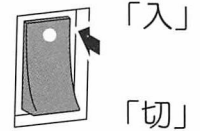
スタート・ストップボタン



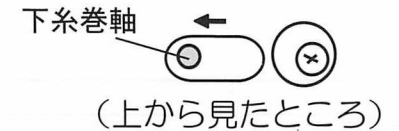
① プラグ1を家庭用電源に差し込みます。
(100V50/60Hz)

② プラグ2をプラグ受けに差し込みます。

③ 電源スイッチを「入」にし照明ランプが点灯します。



④ 正面から見て下糸巻軸を穴の左側の方に動かします。



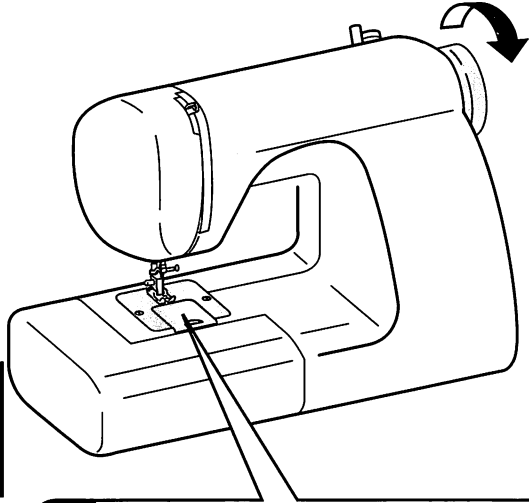
⑤ スタート・ストップボタンを押します。

- ⚠ 注意：・使用後はミシンが完全に停止するまで、はずみ車と針に手を近づけないでください。
・コンセントからプラグを抜きます。

下糸の巻き方

注意：電源スイッチを「切」にしてください。

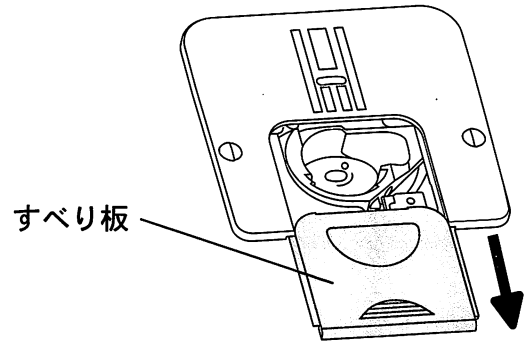
●ボビンの取り出し方



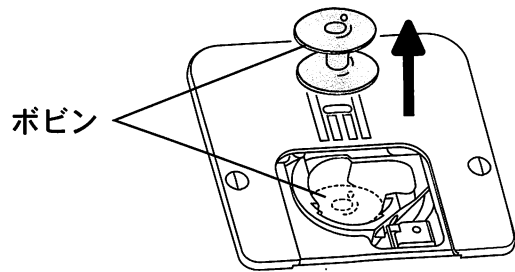
・はずみ車をまわし、針を上げます。

・押え上げレバーを上げておきます。

1

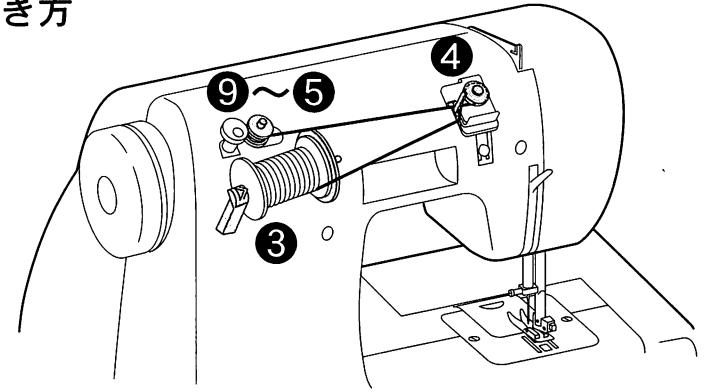


2

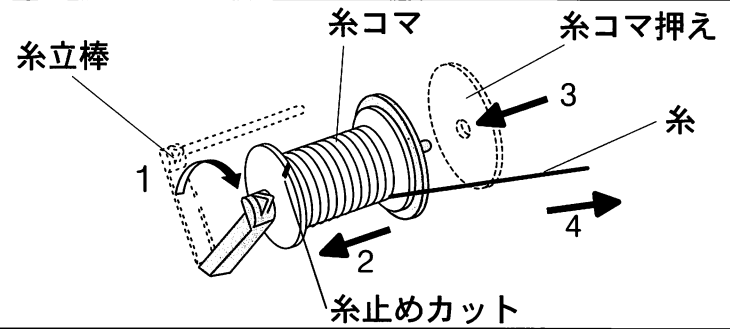


■ボビンはミシン本体にセットされています。

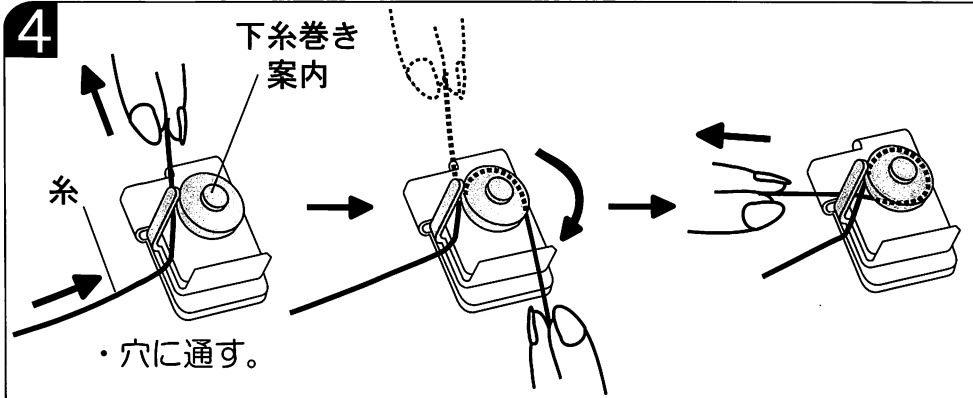
●下糸の巻き方



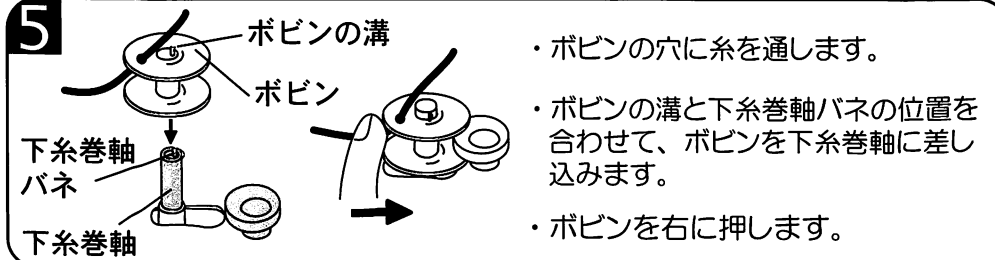
3



4



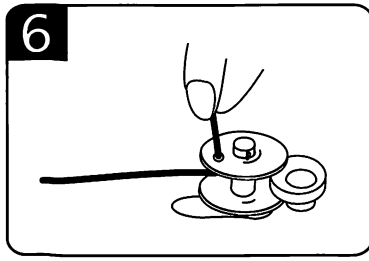
5



・ボビンの穴に糸を通します。

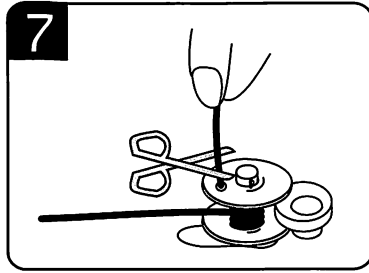
・ボビンの溝と下糸巻軸バネの位置を合わせて、ボビンを下糸巻軸に差し込みます。

・ボビンを右に押し込みます。



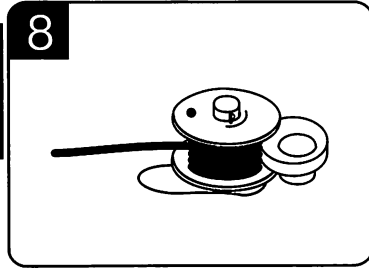
6

- ・電源スイッチを「入」にします。
- ・糸の端を持ったまま、スタート・ストップボタンを押します。
- ・スピードは「おそい」にしておきます。



7

- ・少し巻き、ミシンを止め、糸をボビンぎわで切り、再びスタートします。
- ・スピードは「はやい」にします。



8

- ・巻き終わるとボビンの回転が止まりますので、スタート・ストップボタンを押して止めます。
- ・巻いてある糸が均等に巻かれてない場合は、下記の※をごらんください。

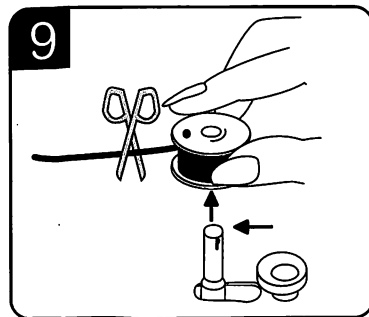
✖

下糸案内台 下糸案内台止めねじ

ゆるめる しめる

×	○	×
下げる	良い	上げる

ボビンを巻いたときに、×の状態であれば下糸案内台止めねじをゆるめて下糸案内台を上下し、○の状態になれば下糸案内台止めねじをしめてください。



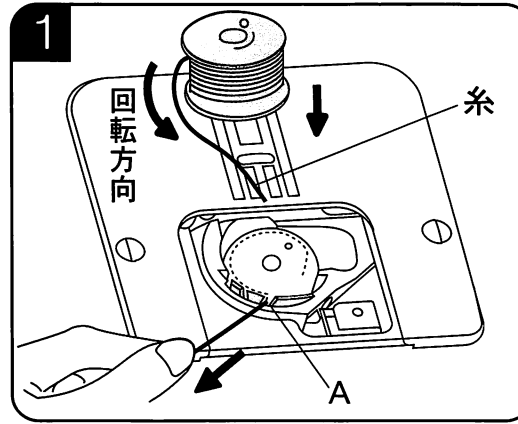
9

- ・糸を切り、下糸巻軸を左にもどしボビンをはずします。
- ・電源スイッチを「切」にします。

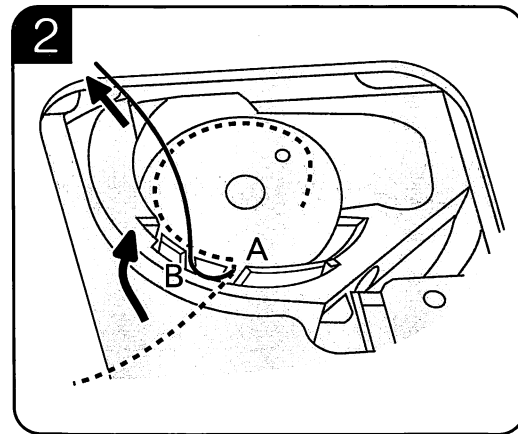
⚠ 注意：下糸巻き運転中に下糸巻軸を左に動かすと、急に針が動きますので、手を近づけないよう気をつけてください。

■下糸のかけ方

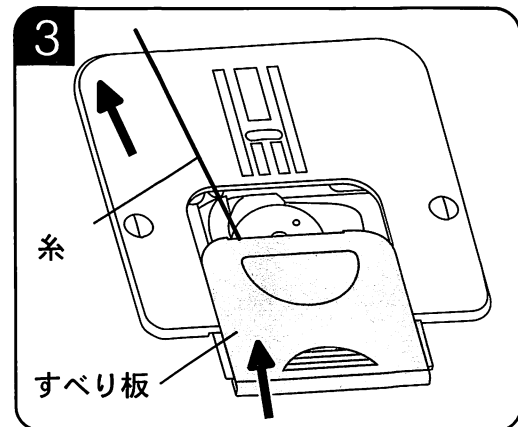
⚠ 注意：電源スイッチを「切」にしてください。



- ・糸を少し引き出しておき、矢印の方向に回るようにしてボビンをボビンケースに入れます。
- ・糸をボビンケースの切り溝Aにかけます。
(糸を手前に引くと溝Aに入ります)



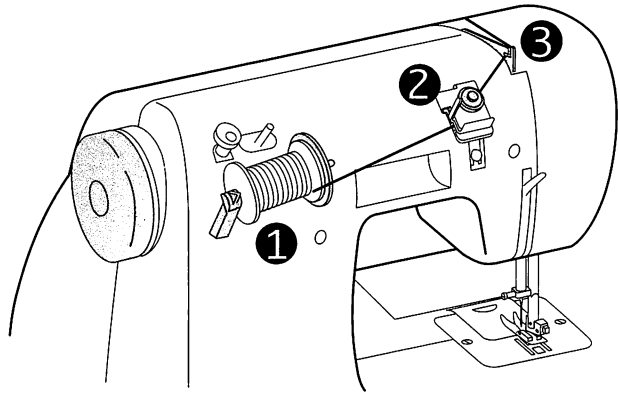
- ・みぞAにかけたまま左に引っ張り、溝Bにかけます。
(糸を引っ張りながら左側に手をすべらせると溝Bに入ります)



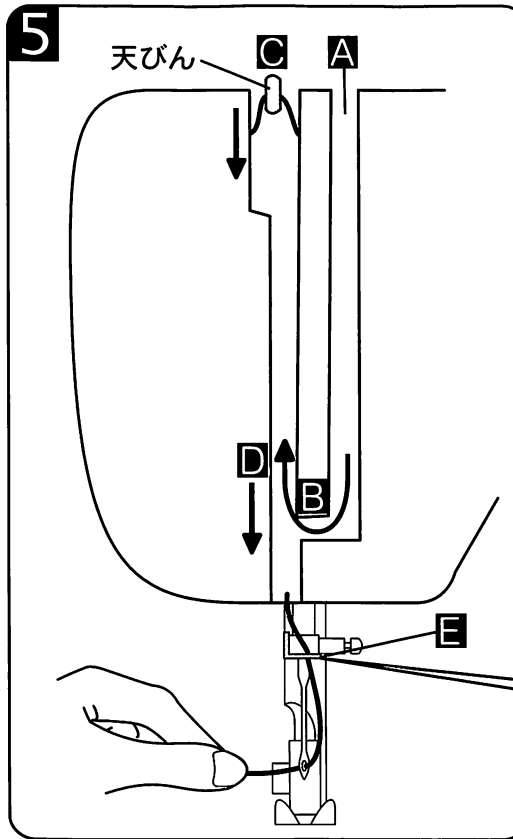
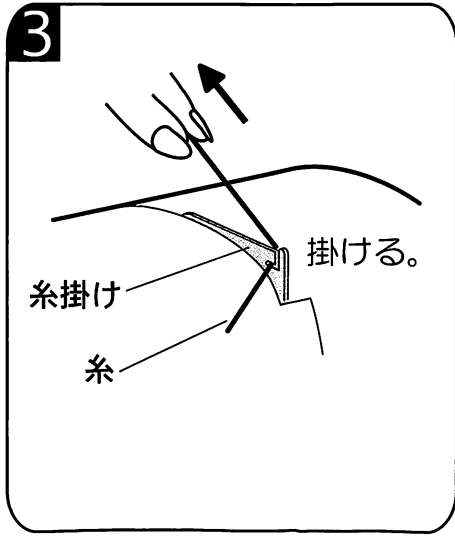
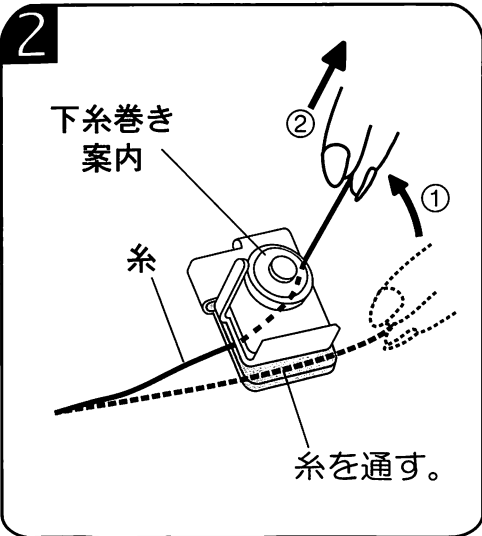
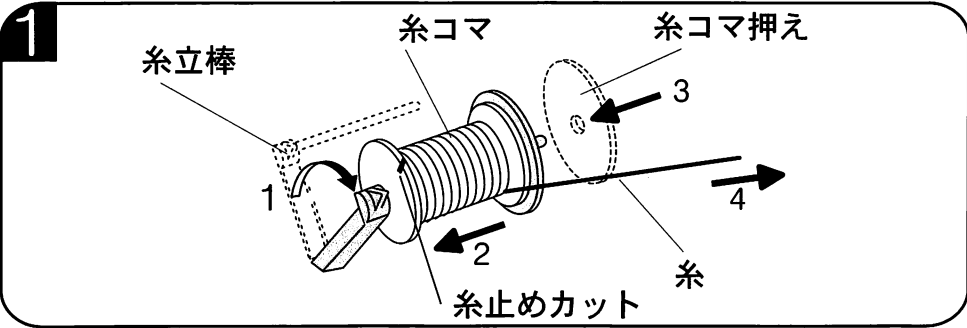
- ・糸を10センチくらい出して、すべり板を閉めます。

上糸のかけ方

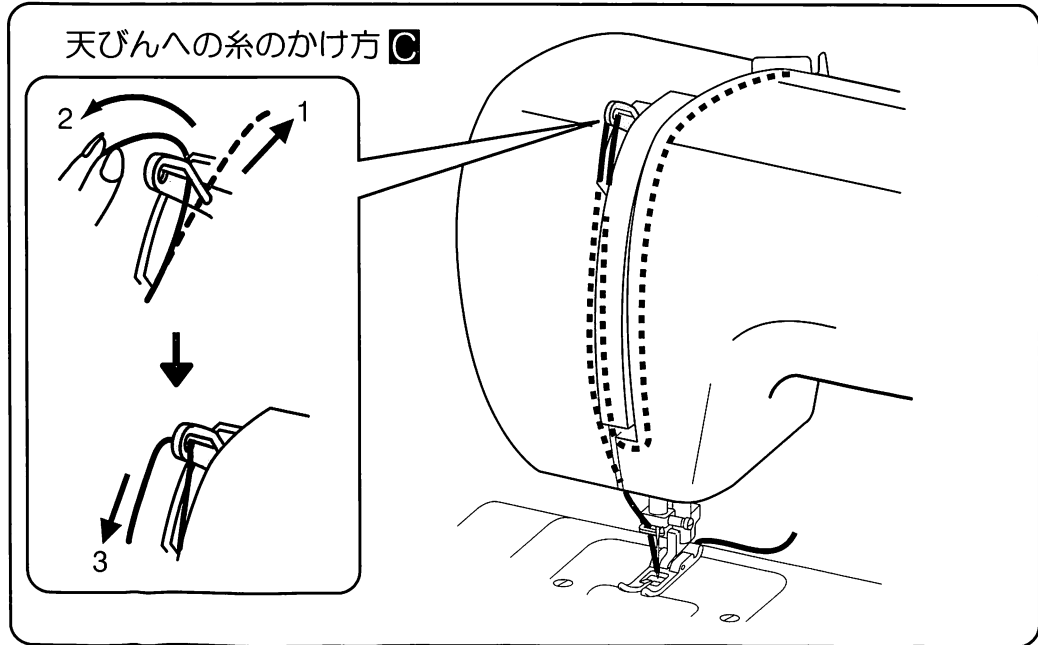
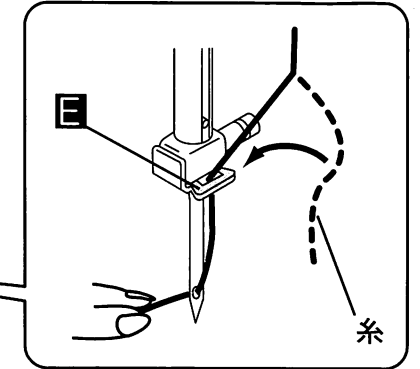
⚠ 注意：電源スイッチは「切」にしてください。



- ・はずみ車を手前にまわし、針を一番上に上げます。
- ・押え上げレバーを上げます。



- ① Aから糸をおろしBの部分に糸を引っかけます。
- ② Cまで糸を引き上げ、天びんに糸をかけます
- ③ Dへ糸をおろします。
- ④ Eに糸をかけます。
- ⑤ 針穴に糸を通します。



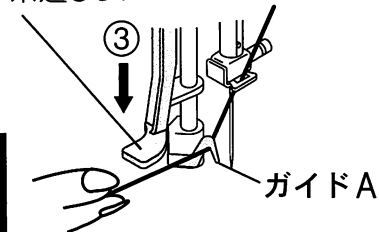
■糸通し器の使い方

⚠注意：・電源スイッチを「切」にしてください。
・ミシンが動いているときは、糸通しレバーに触れないでください。糸通し器がこわれるだけでなく、針が折れてけがをする危険があります。

■糸通し器が使用できる針と糸の太さの組み合わせ

針	糸
11番	60番 80番 100番
14番	50番 60番 80番
16番	50番 60番

糸通しレバー



①押え上げレバーを下げます。

②はずみ車を回し、針を最上位置にしてください。

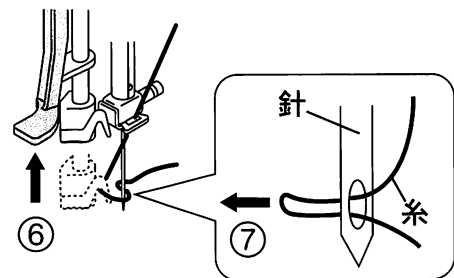
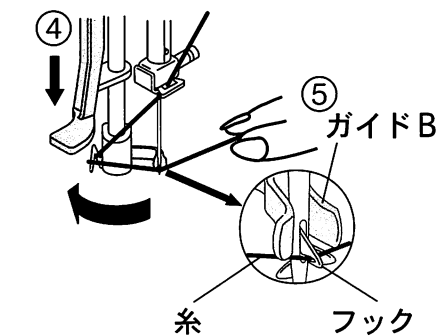
③糸通しレバーを下げて糸をガイドAにかけてください。

④糸通しレバーは糸通し器が回転しフックが針穴に入るまで下げてください。

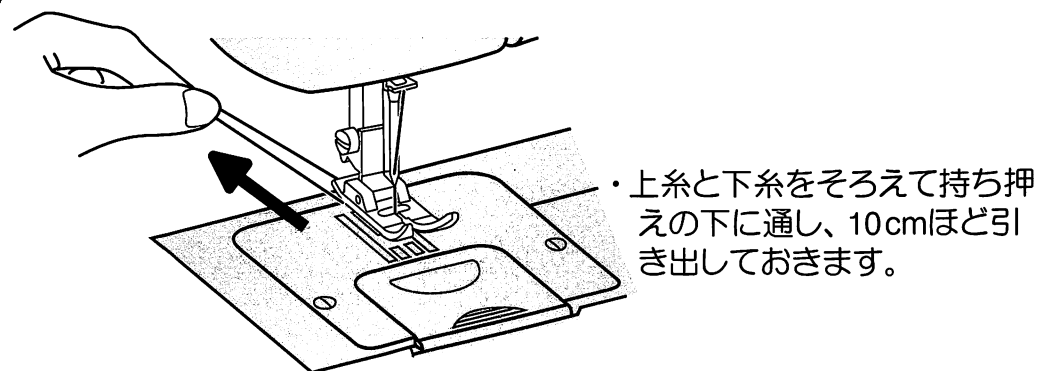
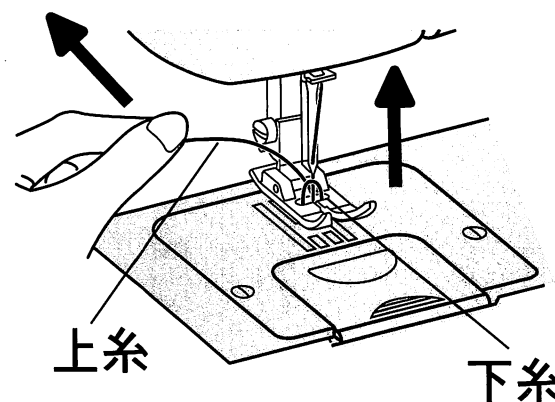
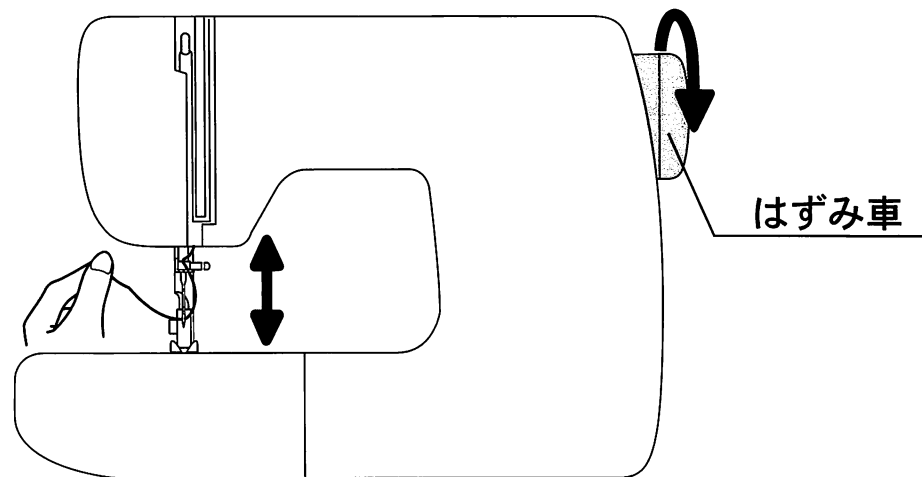
⑤糸をフックにかけ、手前に引きます。

⑥糸通しレバーから手をはなします。

⑦糸を引き出します。



■下糸の引き上げ方



・上糸の端を持ち、はずみ車を手前に1回転させますと針が上下します。

・上糸を引き上げると下糸が引き上げられます。(下糸が出てこない時は、再度はずみ車を手前にまわしてください)

・上糸と下糸をそろえて持ち押えの下に通し、10cmほど引き出しておきます。

模様の種類

⚠ 危険：針を布にさした状態で模様選択ダイヤルを回すと針が折れてけがをする危険があります。
必ず針は一番上に上げて下さい。

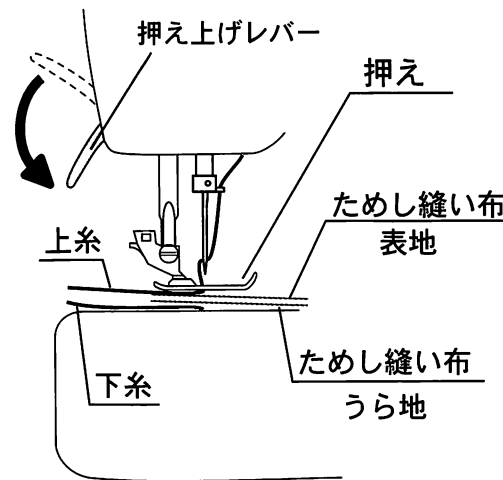
模様							
呼び名	直線縫い		ジグザグ縫い				点線 ジグザグ縫い
	左基線	中基線	縫い幅・小	縫い幅・中	縫い幅・大	密着縫い	
押え	そなえつけの押え (ジグザグ押え)						

模様										
呼び名	まじり縫い	伸縮まじり縫い	伸縮縫い	縁かがり縫い	三重ジグザグ縫い	三重直線縫い	ボタンホール			
押え	そなえつけの押え (ジグザグ押え)						ボタンホール押え			

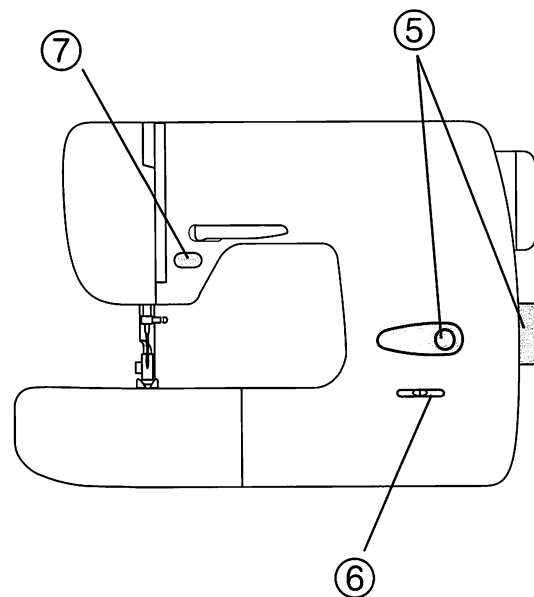
◆押えの取り付け方は7ページです。

ためし縫い

■布の切れ端を使ってきれいな裁縫が行えるかの確認です。
◆試し縫いの時には2枚以上の重ね縫いをします。



- ①電源スイッチを「入」にします。
- ②はずみ車を手前にまわし針を上 にします。
- ③押え上げレバーを上げ押えを上げます。
- ④布を押えの下に置き押え上げレバーを下げます。



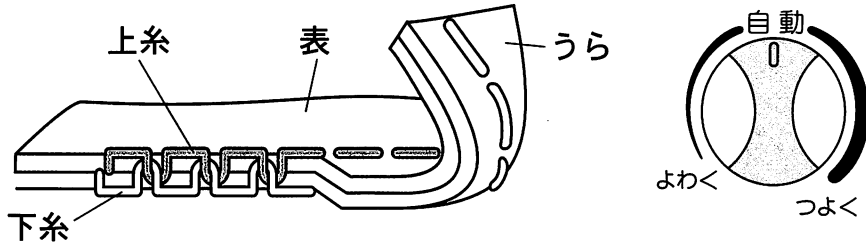
- ⑤模様選択ダイヤルをまわし、模様窓に模様を合わせて裁縫をする模様を選びます。
(その時に針が上にあることを確認してください)
- ⑥縫う速度に慣れるまでスピード調節を左側「おそい」にしておきます。
(右側に動かすと速くなります)
- ⑦スタート・ストップボタンを押し、縫い始めます。

糸調子の確認と合わせ方

■ためし縫いの布を見て、糸調子を調整します。

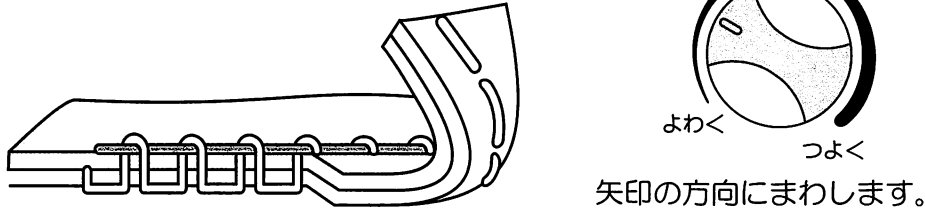
◆糸調子が正しいとき

・上糸と下糸が布の中間で交差し、糸のたるみ、布縮みのない状態



◆上糸が強いとき

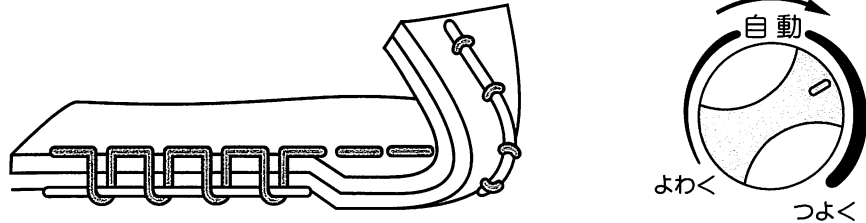
・下糸が上に引き出されます。



矢印の方向にまわします。

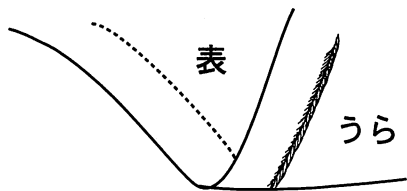
◆上糸が弱いとき

・上糸が下に引き出されます。



矢印の方向にまわします。

◆布の裏側の糸がタオル状になるのは

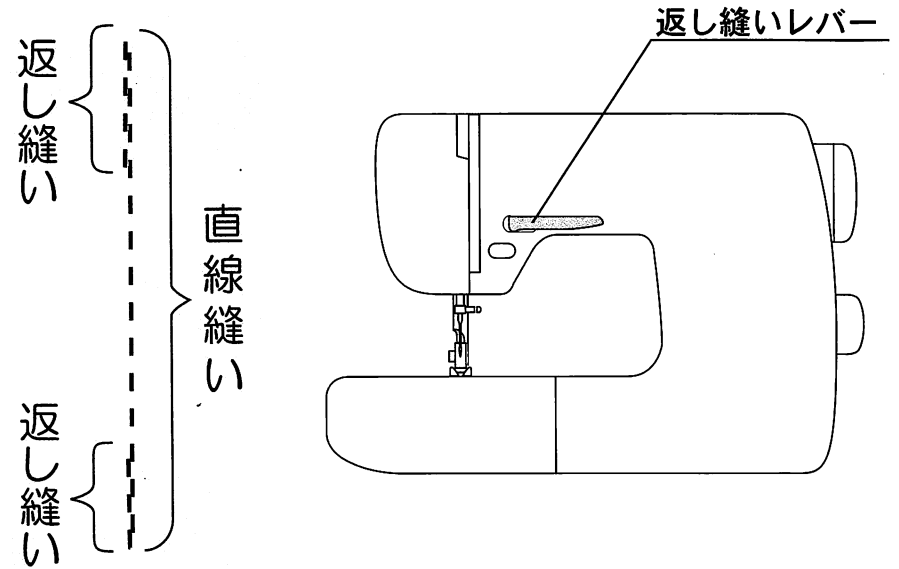


・上糸調子が弱いか、押え上げレバーが上のままか、上糸のかけ方が正しくかけられていないかです。全ての糸をはずしもう一度糸をかけ直してください。(13ページ)

返し縫い

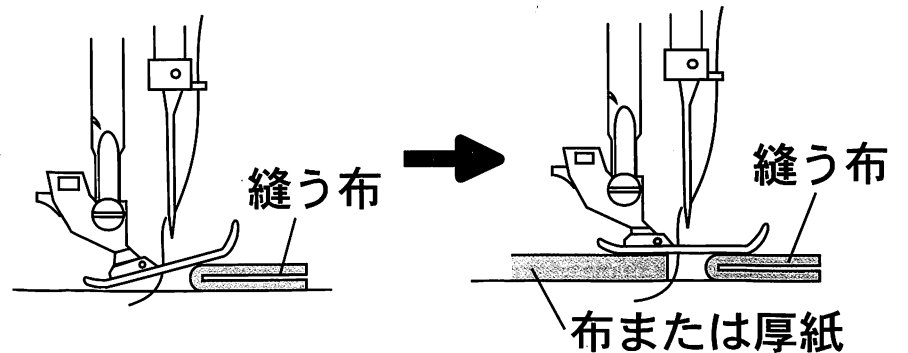
危険：針は上まで上げてください。針がささっていると返し縫いで針が折れることがあります。

■ミシンが動いている状態で、返し縫いレバーを下げている間、返し縫いができ、離すと止まります。
ミシンが動いていない状態でも、返し縫いができます。
返し縫いレバーを下げてても返し縫いしない場合がありますので、更に下に押し下げてください。(縫い模様によって変化します)

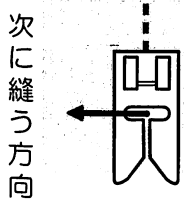


厚地の縫い始め

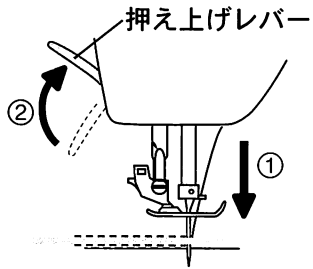
■厚地の端から縫い始める時に押えが傾いてスムーズに縫えないことがあります。このようなときは押えの下に同じ厚さの布や厚紙を敷いて縫い始めます。



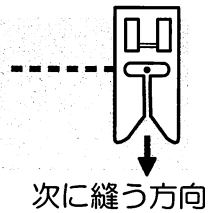
縫い方向のかえ方



- 方向を変えたい場所の1センチ手前まできたらミシンを止めます。
- 方向を変えたい場所まではずみ車をまわして針を布に刺し、針が一番下がった状態にします。



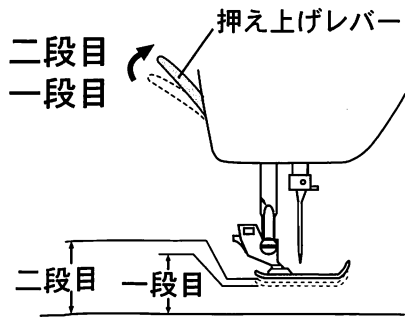
- 押え上げレバーを使い、押えを上げます。



- 針を基本として縫う方向に布をまわし、押えを下げてから縫い始めます。

段縫い

■ 布地を重ねて厚くなった部分を縫う時は、手で布の送りを助けながら縫います。

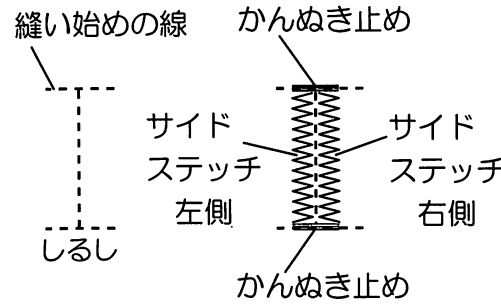


- 二段目まで上げることができますが手を離すと一段目の位置に戻ります。
- 一段目の高さを超えない程度の厚みで縫うようにしてください。

危険：布を押し込んだり無理に引き出したりすると、針が折れてけがをする危険があります。

ボタンホール

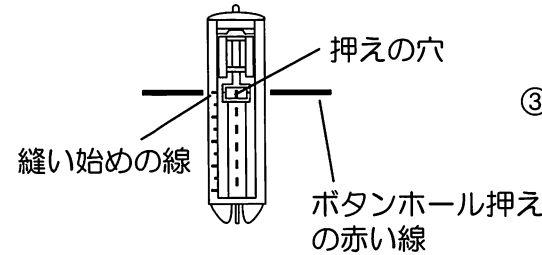
- ◆ 最も適切な大きさをきめるため、布切れで試し縫いを行ってください。
- ◆ 極薄の布や化繊地を縫うときは、布の裏に薄い紙を一枚あてますとゆがみが防げます。



① ボタンホール押えを取りつけます。
(交換の仕方は7ページをご覧ください)

② ボタン穴の長さをきめます。
* ボタン穴の長さ = ボタンの直径 + ボタンの厚み

* 鉛筆かチャコペンで布に印をします。

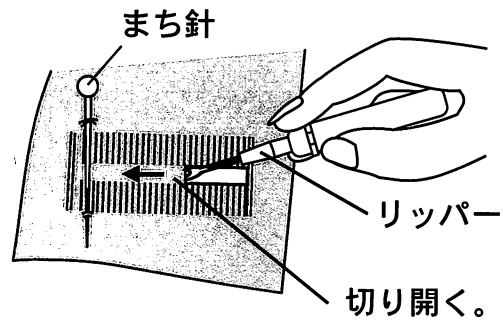


③ 縫い始めの線に合わせるように布をおきます。

縫い方

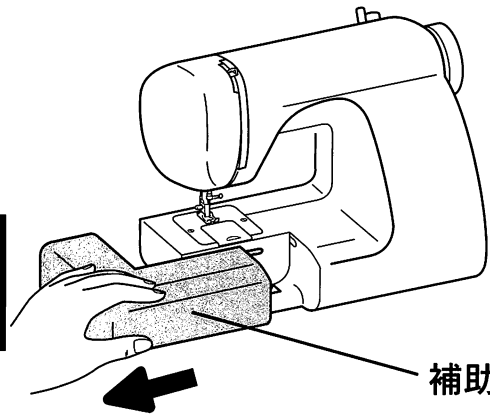
模様	1	2	3	4
縫い方	<p>AからBの位置でミシンを止めます。</p>	<p>5~6針かんぬき止めをし、ミシンを止めます。</p>	<p>BからC位置でミシンを止めます。</p>	<p>5~6針かんぬき止めをし、ミシンを止めます。</p>

■縫い終わりましたら…

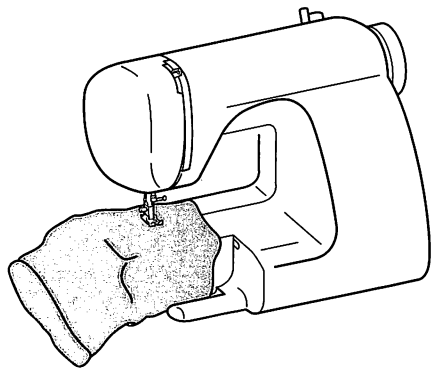


- ・付属のリッパーで切り開きます。
- ・切り過ぎないようにまち針等を使用します。

フリーアーム



- ・左端を持って、左へ引きはずします。



- ・袖付け、袖口のカフス付け、ズボンのすそ、襟付けなど筒形のものを縫うときに使います。

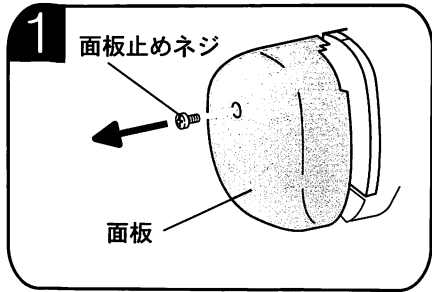
困った時には

■ミシンの調子が悪い場合は、次のことを確かめましょう。

こんな時	ここをお調べください。	参照ページ
ミシンが動かない	<ul style="list-style-type: none"> ・電源コードが正しく接続されていますか？ ・電源スイッチ・スタート/ストップボタンをもう一度押し直してください。 ・下糸巻軸が右側になっていませんか？ ・かまに糸がからんでいませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 8 ▶ 18 ▶ 8 ▶ 25
上糸がからまる	<ul style="list-style-type: none"> ・上糸のかけ方は正しいですか？ ・糸調子は適切ですか？ ・押えが下がっていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 13 ▶ 19 ▶ 18
上糸が切れる	<ul style="list-style-type: none"> ・上糸のかけ方は正しいですか？ ・糸調子は適切ですか？ ・針の取り付け方は正しいですか？ ・針と糸と布の関係は？ 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 13 ▶ 19 ▶ 6 ▶ 7
下糸が切れる	<ul style="list-style-type: none"> ・下糸のかけ方は正しいですか？ ・ボビンケースに糸がからみついていませんか？ ・かまに糸くすがたまっていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 12 ▶ 25 ▶ 25
布を送らない	<ul style="list-style-type: none"> ・送り歯にゴミがたまっていませんか？ ・模様を選択は正しいですか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 25 ▶ 17
音がうるさい 回転が遅い	<ul style="list-style-type: none"> ・かまの内部に糸くすがたまっていませんか？ ・送り歯にゴミがたまっていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 25 ▶ 25
縫い目に輪ができる	<ul style="list-style-type: none"> ・上糸のかけ方は正しいですか？ ・糸調子は適切ですか？ ・ボビンが正しくセットされていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 13 ▶ 19 ▶ 12
縫い目がとぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・上糸のかけ方は正しいですか？ ・針の取り付け方は正しいですか？ ・針と糸と布の関係は？ ・針が曲がっていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 13 ▶ 6 ▶ 7 ▶ 6

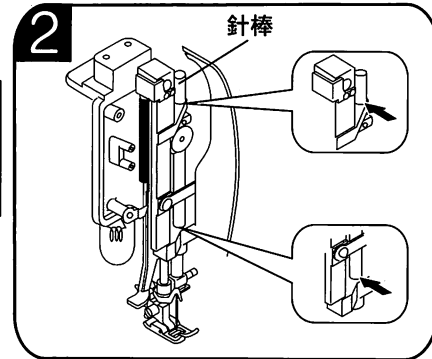
お手入れ

危険：お手入れの際は、必ずコンセントからプラグを抜いてください。



■ 面板のはずし方

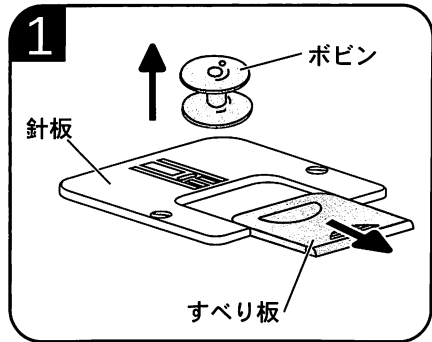
- ・ 上糸を全てはずします
- ・ 針をはずします(6ページ参照)
- ・ 面板止めネジをゆるめます。
- ・ 面板をはずします。



■ 針棒の注油の仕方

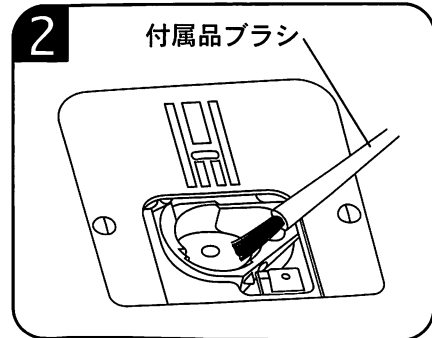
このミシンは、特に注油の必要はありませんが6ヵ月以上ご使用にならないときに注油してください。

- ・ 矢印の2箇所に1、2滴油をさしてください。

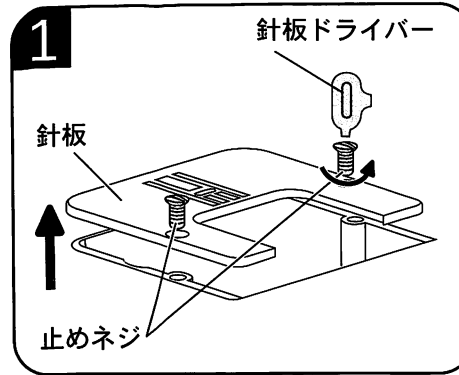


■ ボビンケースの掃除

- ・ すべり板を開いてボビンを取り出します。

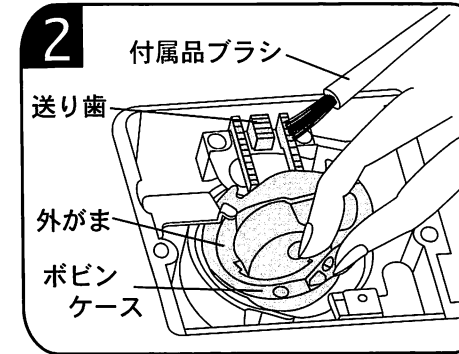


- ・ 付属品のブラシを使ってボビンケースを掃除してください。



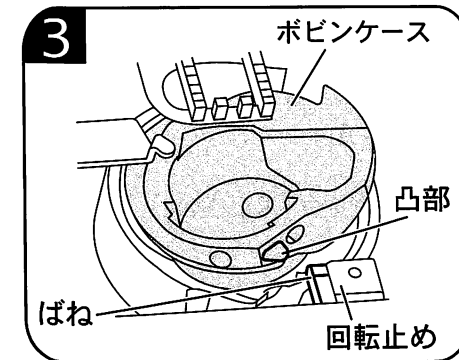
■ ボビンケースのはずし方

- ・ 押え上げレバーを上げ、押えと針をはずします(6、7ページ参照)
- ・ 止めネジをゆるめ、針板をはずします。
- ・ ボビンケースを手前に少し上方に持ち上げて取り出します。



■ 外がまと送り歯の掃除

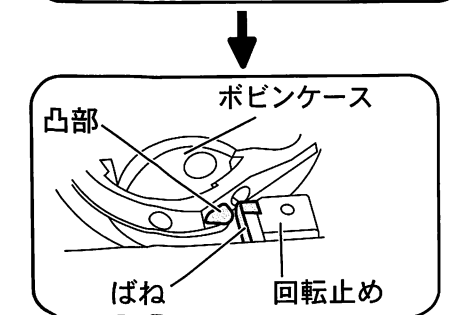
- ・ 外がまと送り歯のまわりを掃除してください。
- ・ ボビンケースは、乾いた布できれいに掃除してください。



■ ボビンケースの入れ方

- ・ ボビンケースを外がまの中に手前からすべり込ませ、ボビンケースの凸部が回転止めのばねに接するように水平に入れます。

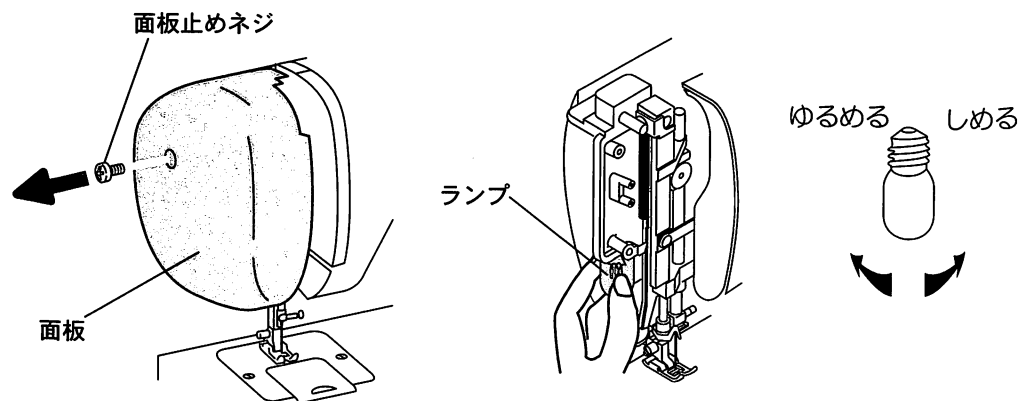
- ・ はずみ車を手前にまわしスムーズにまわることを確かめてください。



- ・ 針板を取りつけ、止めネジ2本をしめます。

ランプの交換

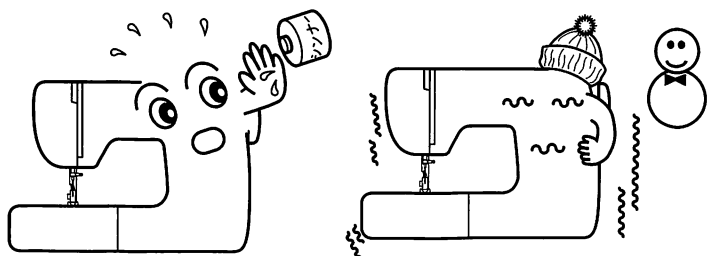
・ 面板止めネジをゆるめて、面板をはずしランプをはずします。



注意：・ランプ交換の際には、必ずコンセントからプラグを抜いてください。
 ・割れ物のため取り扱いには、十分にご注意ください。
 ・使用直後の交換は、ランプが熱くなっており、火傷をする恐れがありますので、十分に冷えてから交換してください。

取り扱いの注意

- ひどい汚れは、中性洗剤をぬるま湯で薄めて布に浸して硬くしぼり、ふき取ります。ふき取ったあとはやわらかい乾いた布で洗剤をふき取ります。
- 金属部分は中性洗剤を使用しないで乾いた布で汚れを拭き取ってください。
- 低温の場所から出したときは、室内の温度になじむまでしばらく置いてください。時間がたてば正常に作動するようになります。保管はなるべく寒いところをさげ、直射日光が当たる場所、湿気が多い場所には置かないでください。



主要諸元

寸法／重量	W37.5xL17.6xH25.7(cm)／5.9(kg)
電気定格	100V50/60Hz55W(口径E12ランプ5W含)
かま形式	水平全回転釜
ボビン	HAプラスチックボビン
ミシン速度	150～500rpm
押え高さ	針板面より約6
針振り幅	5
適用針	HAx 1 #9～#16

上記仕様は予告なく変更されることがあります。

サービス工場のご案内

純正部品のご購入は購入店又は、下記のサービス工場へお申込みください。

ご購入頂きましたミシンは、下記の専門工場で点検修理等のサービスを致します。尚、サービスには有償と無償の場合がありますので、サービス工場にお問合せの上、ご送付ください。

※ご送付のときは、このミシン箱と発泡スチロールにご利用ください。

送付先

〒544-0022 大阪市生野区舍利寺3-12-5 TEL06-6717-5851

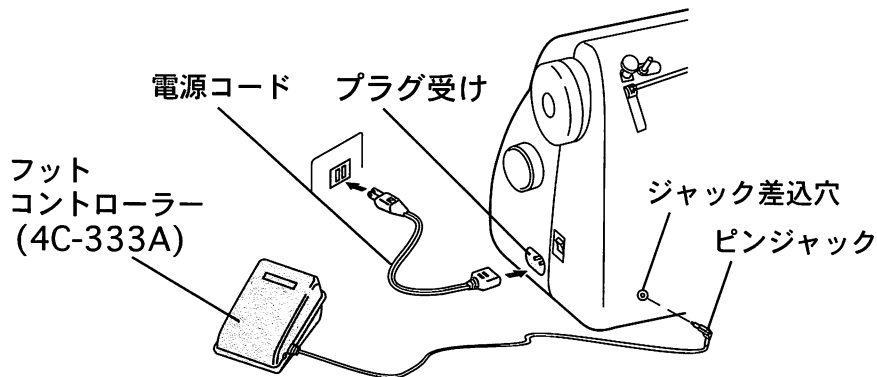
株式会社アックス・ヤマザキ ミシンサービス係 行

☎フリーダイヤル0120-40-5851

(月～金 午前9:00～12:00 午後1:00～5:00 土曜・日曜・祭日休み)

フットコントローラーの使用法

- ⚠ 危険:** ・フットコントローラーの上に、物をのせないでください。
 ・フットコントローラーを接続する時には安全のため電源スイッチを「切」にしてください。
 ・スタート・ストップボタンは使用しません。
 ・フットコントローラーを使わない時は、電源スイッチを「切」にしフットコントローラーを外してください。



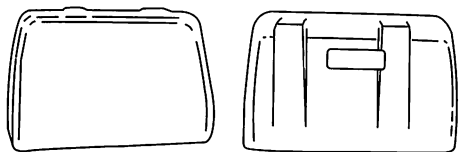
- ①ピンジャックをジャック差込穴の奥まで確実に差込みます。
- ②電源コードを接続し、電源スイッチを「入」にします。
- ③フットコントローラーを踏み込んでゆくと、ミシンが動き始め、踏み込むほど速くなり、離すと止まります。

*フットコントローラーでの縫う速さは、スピード調節つまみで調節できます。

カバー・テーブルの使用法

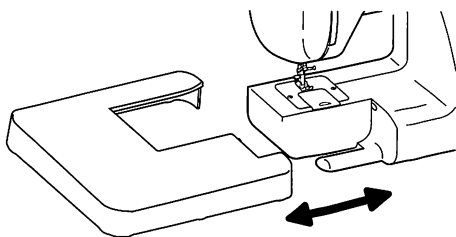
■ハードケース

- ・使用する時は糸コマを外して糸立て棒をたたんで下さい
- ・ミシンにかぶせて収納してください。



■テーブル

- ・フリーアームにして(P23参照)から取り付けます



- ⚠ 危険:** ・カバーの上に、物をのせないでください。
 ・テーブルに手をつけて立ち上がらないで下さい。

修理サービス要領

●修理サービスのご相談

1. このミシンのご購入者には、ご購入日から1年間の「無料修理保証書が発行されます。内容をお確かめの上、大切に保存してください。
2. 修理サービスは無料保証期間内および期間経過後も原則としてご購入店が承りますので、ご相談ください。
3. 修理サービスについてお問い合わせやご不審のある場合は、ご購入店または、お客様相談係へお申しつけください。

●修理用部品の保存と供給

動力伝達機能部品および縫製機能部品のうち、交換修理に必要な部品は、ご購入の日から通常8年間は必要に応じて当社よりご購入店に供給できる体制を整えております。

●無料修理保証期間後の修理サービス

1. 取扱説明書に基づいて、正しい使用とお手入れがされていれば、無料修理保証期間を経過しても修理用部品の供給可能期間中は、ご購入店を通じて有料で修理サービスをいたします。
 ただし、次に該当する場合は、有料でも修理できない場合がありますので、ご購入店にご相談ください。
 - イ. 保存上の不備または、誤使用により不調、故障または損傷したとき。
 - ロ. 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
 - ハ. ご購入後の移動または輸送によって不調、故障、損傷したとき。
2. ご購入店または当社の指定する販売店あるいはサービス店以外で修理、分解、または改造したために不調、故障または損傷したとき。
2. 長期間にわたってご使用されたミシンの精度の劣化は修理によって元どおりに修復できないことがあります。
3. 有料修理サービスの場合の費用は、別に定める必要部品代金、交通費および技術料金の合計額となります。

ミシン保証書

形名		機械番号	
※お買い上げ日		年 月 日	保証期間 お買い上げ日より本体1年
※お客様	ご住所	〒 _____ TEL _____ 様方	
	フリガナ ご芳名	_____ 様	
※販売店	住所	〒 _____	
	店名	_____ TEL _____	

※印欄に記入のない場合有効とはなりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合には、直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。本書は、再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

無料修理保証に付いて

1. 無料修理保証期間（ご購入の日から1か年間）内に故障が発生した場合は、無料で故障箇所の修理調整、または故障部品の交換をいたします。
2. 無料修理保証は表記ミシン頭部のみとし、ケース、針及び電球を除きます。
3. 無料修理保証をお受けいただくときは、この保証書を提示してください。
4. 保証機種がコンパクトミシンまたは、軽量可搬のポータブルミシン等であるときは、そのミシンを購入店へご持参、またはご相談ください。

無料修理保証が受けられない場合

次のような場合には、保証期間内でも保証の対象とはなりません。

1. 「取扱説明書」に記載してある使用方法または、保存方法と異なる方法によったため不調、故障または損傷したとき
2. 浸水、冠水、火災、天災地変により不調故障または損傷したとき。
4. ご購入店、または当社で指定した販売店、サービス店以外で修理分解または改造したために不調、故障または損傷したとき。
5. 職業用等過度なご使用により不調、故障または損傷したとき。
6. 特別なご依頼により点検、精密検査または分解掃除をしたとき。
7. この保証書のご提示がなかったとき。
8. この保証書に購入年月日、ご購入店名の記載または捺印がなかったとき。
9. この保証書の字句の訂正または書き換えをしたとき。
10. この保証書は日本国内に限り有効といたします。

有償修理について

1. 上記の1.～10.に該当する場合、その他有料で修理するときの費用は、別に定める必要部品代出張費および技術料の合計額といたします。
2. コンパクトミシンまたは、軽量可搬のポータブルミシンを、無料修理期間中にお客さまのご依頼によって販売店が主張修理する場合は、別に定める出張費をいただきます。

お問い合わせまたはご相談先

この保証書に記載してありますご購入店または、取扱説明書の「サービス工場のご案内」に記載された「お客さま相談係」へお申越しください。

お客さまへのお願い

1. この保証書は、本書によって明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客さまの権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理について、ご不明の場合はご購入店または、当社の「お客さま相談係」等へお問い合わせください。
2. 「取扱説明書」の「修理サービス要領」をよくお読みください。
3. この保証書は紛失されても再発行いたしませんので、大切に保存してください。

【輸入製造元】



〒544-0022 大阪市生野区舍利寺3丁目12番5号
TEL (06) 6717-5851~3/FAX (06) 6741-7875

No.29

2008.02.1000

株式会社 アックスヤマザキ

PRINTED IN TAIWAN

まつり縫い(ブラインドステッチ)



模様選択時は針を上げます

針が折れ、ケガをします。



針先に注意する

ケガをする恐れがあります。

ジグザグ押え



まつり縫い

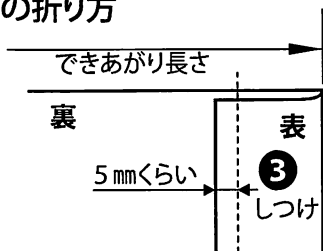


伸縮まつり縫い

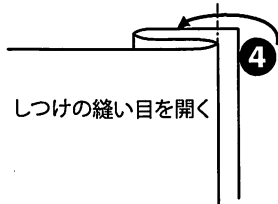


- ① はずみ車をまわし、針・天ピンを上げます。
- ② 模様選択ダイヤルのまつり縫い模様を選びます。
ズボンやスカートのすそ上げ、袖口の縫製に使用します。
- ③ 布を折り、しつけをします。

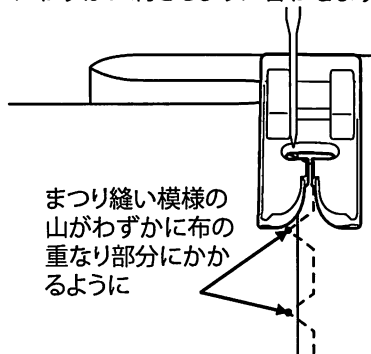
布の折り方



- ④ しつけの縫い目を開きます。
(アイロンでのばすと縫いやすくなります)



- ⑤ 図のように押えの下に布をおき、はずみ車をゆっくりまわしながらまつり縫い模様の山部分が布の重なった部分にわずかに刺さるように合わせます。



縫い始めるときは、押えを下げます

糸が絡み、縫い損じになります。

- ⑥ 押えを下げ、スピードは「おそい」で縫い進めます。(まつり縫い模様の山部分が布の重なった部分からはずれないように注意します)
- ⑦ 縫い終わったら、押えを上げて布を引き出します。
- ⑧ 糸を切り、布を表に返すとまつり縫いができています。

まつり縫い模様では針が左のとき、布の折山に針がかかる量が少ないほどきれいに仕上がります。また、針が布の重なりをずれると縫い合わせません。

